



森のなかま

2021年 8月号

NO. 158 (継続303号)

NPO法人かながわ森林インストラクターの会 <http://www.forest-kanagawa.jp> 発行人 佐藤 恭平
〒243-0018 厚木市中町2丁目13番14号・サンシャインビル6階604号 TEL046-297-0301・Fax046-297-0302

理事長を退任するに当たり10年間を振り返って

久保 重明 前理事長



私が理事長に着任したのは2011年(平成23年)6月で、2021年(令和3年)6月12日に離任したので、10年の間、理事長の席を温めたことになりました。その在任中に12期から16期のインストラクターの養成講座の閉講・県知事の認定式を行いました。おめでとうございます。

着任した頃には、10月に成長の森見学会、11月に全国育樹祭(奈良県)、そして2012年6月に丹沢大山自然再生委員会入会、2013年11月には日本触媒・湯河原万葉の森の森開き、2014年11月に三ノ宮里山保全活動開始、11月川崎市民祭り、12月やどりき森の案内人・経路巡回事業が始まりました。

2015年度末に県森林連合会は移転で厚木のグリーン会館を取り壊すことになり、会は退去することになりました。新しい転居先を物色始め、2015年(平成27年)2月に森本理事の努力で新事務所が決まりました。そして2016(平成28年)2月24日神奈川県森林協会と共同でサンシャインビル6階604号室(13坪)を借りて移転しております。

2015年7月5日やどりき経路巡回事業を受注、同年8月に公認会計士・税理士大田和先生と協議を重ね、11月8日に顧問契約を結びました。2015年(平成27年)11月30日には平成27年度社会貢献者表彰および奨励金を頂きました。2016年3月12日には「成長の森」植樹会が開催されております。また2016年(平成28年)5月21日、22日には緑の祭典が小田原で開催し400名参加頂いております。

2016年(平成28年度)やどりき経路巡回事業の失注で単年度赤字決算せざる得なくなりました。2016年7月にかながわトラストみどり財団に西ヶ谷孝之氏が専務理事で就任されました。2017年(平成29年)6月頃から西ヶ谷専務理事には会の理事会顧問としてお迎えし、いろいろご助言やご支援を頂きました。蟹田沢保全事業では仕事がやり易いように何度も現場に足を運んで頂きました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。また蟹田沢に取り組んだ皆様には慣れぬ仕事で苦勞されたと思いますが、外部から高い評価を得ていると聞いております。

9月に入り財政健全化委員会からレポートが提出され、このままでいけば平成31年には赤字になることが明らかになりました。2017年(平成29年)1月22日臨時総会を開き運営分担金を500円アップし、1,000円とすることを提案し、なんとか皆様のご理解を得て承認して頂きました。同時に専担者支払額の削減、顧問契約料の削減、事務所賃借料の削減交渉、会議交通費の削減、トラスト会員増加への協力、その他に削減施策実行担当を決め達成状況を報告して貰うことにしました。11月3日SMAS(住友・三井)の森の開所式を行っております。

2018年(平成30年)3月10日には平成29年度「成長の森」の植樹会に参加し、5月27日には「緑の祭典かながわ未来の森づくり」開催に参加致しました。10月8日理事会では、会員の高齢化と技量の問題が取り上げられており、どう対応していくか話題提供に終わらず真剣に考える問題だと思っております。

2019年(平成31年)湯河原の万葉の森事業、SMASの森事業そして蟹田沢ビオトープ環境整備事業ではコアメンバーを決める要望が出ており、派遣管理体制を再検討する時期に来ているようです。事業検討部会の財政健全化の施業評価の取りまとめ(27年度~29年度)よれば、29年度決算から削減目標は概ね達成できています。しかし個々の増収施策、財団の受託費の見直し、会報送料の値上げ、賛助会費の増収が見られましたが、他はそれほど増収効果に進展はなく、平成29年度の収入増は運営分担金に頼ることになっています。29年度後半よりSMASの森事業が着手されており、これからの増収効果を期待したいと思っております。また会計業務の効率化を図るために、2020年2月16日会計業務担務者として柳瀬 望氏、および他1の2名を採用致しました。

2019年(平成31年)2月19日の副理事長会議において、運営分担金を500円に戻すことについて議論がなされ、平成30年度決算では黒字になっていることから運営分担金を500円戻すことを理事会で諮ることになりました。その後の理事会でも考え方は変わりませんでした。しかしその後のコロナ禍で活動が中止になったこともあり心配しましたが、幸い持続化給付金の支給もありこれを利益に入れて、通常総会で松永会計部長がお話したように、500円にすることに致しました。これから世の中上向きに向かうとの期待を入れた判断であることをご理解ください。

もう一つの課題である認定NPOへの申告については、2019年(令和元年)6月16日通常総会で賛成多数で承認されました。その後、提出書類を纏め、神奈川県県民局くらし県民部NPO協働推進課横浜駐在事務所に提出致しました。2021年(令和3年)2月10日に認定NPOの認可が得られております。

話は変わりますが、会は当時の財政状態から森林探訪のガイドブック作成に資金支援できず、有志会員の努力と寄付でスタートしました。作成費用は会員と購入希望者への販売で、2019年(令和元年)9月に完売しております。すばらしい仕上りのものになりました。

2020年(令和2年)2月1日県西合同庁舎で行われた環境贈与税の説明会で、我々が何をできるか各支庁に説明する機会を与えて頂きました。

書き終えて、皆様もよくご存知のことですが、整理して残して置いたらと思うことを書いておきます。この10年間気の休まることのなかったことは会計・経理のことでした。会員になる前に本格的にこの部門たずさわってきた方が少なく、急に任された方にはかなり無理をお願いしてきたと思っております。その方々にはお詫びと感謝申し上げます。15期の石井 実さんが担当して頂いた時に2名担務者を採用し本格的に見て頂き大きく変わって来ました。また事業部会でIT化も進めており、それが軌道に乗れば格段と会計・経理も変わってくると思っております。

更にもう少し気になることは、これからはボランティア分野も競争の時代に入っていくので資格取得はぜひ必要だと思っております。また経営の面から中期経営計画・経営戦略を作っておく必要があると思っております。

その他、会として問題点となることは、①最近せっかく会員になっても辞める人が見られ、単年度での会員の補充が出来ないか、②事業化も進んできて支給金額も多少の違いがあり、運営分担金を今後どのようにしていくか(ボランティア部門と営利部門に分ける必要あるのかどうか)などです。

以上

以下の連絡が財団から来てからの行動は省略させていただきます。

2020年4月に突然トラストから申し入れがあり、新型コロナウイルスの影響で8月までのイベント、インストラクターの派遣は見合わせる事。原則8月末までインストラクター派遣および9月以降の活動に伴う下見等の中止すること。「森のなかま」は9月号まで休刊すること。

森のめぐみ シリーズ

枠組は桜の小枝です

赤、青、黄色など花の色はさまざまです。草花に限らず植物は特有の色を持っています。これまでに草木染めの色、食品に利用される植物の色について例を挙げながらご紹介してきました。このような色はどのような仕組みで現れるのでしょうか。実は色の違いは色素成分の構造に大きく関係しているのです。

光は波長の異なる電磁波の集まりです。そして380~780nmの波長域が可視領域として人が色として認識できる範囲です。nm(ナノメートル)は 10^{-9} mという非常に短い波長です。可視領域よりも短い波長の紫外線やX線、長い波長の赤外線や電波は色として人は認識できません。電磁波の波長域を示すと図1のようになります。このうち可視光線は波長の短い紫から最も長い赤の領域になります。

ところで色素にはある特定の波長の光を吸収し、残りの波長の光を反射する性質があります。反射した光の中でヒトの目に見える範囲の波長の光が色として見えるのです。吸収光に対して反射する光が余色、すなわち色素の色として私たちの目に映るのです。

例えば、色素が青色の光を吸収すると反射してくる光は吸収された光の残りの分の黄色などとして目に見えるのです。逆に黄色の光を吸収すれば目には青に見えるのです。草木の葉が緑に見えるのは実は葉に含まれる色素のクロロフィルが赤や青色の光を吸収し、緑の光を反射するからです。

色素がどの波長を吸収するかということは色素の構造と深い関係があります。一般に二重結合がいくつかつながった結合(それを共役結合といいます)が化合物の中にあると可視領域のエネルギーを吸収して、残りが反射して色として見えることとなります。必ずしも共役二重結合だけでなく分子の構造が可視光のエネルギーを吸収する領域になった時に発色するということもあります。二重結合の存在は発色に大きな役割をしています。化合物の種類によって吸収する波長

第40回 植物の色のしくみ

東京大学名誉教授 谷田貝 光克 氏

が違いますので、私たちが認識する色にも違いが出てくるのです。

植物が持つ色素類は構造的に大きく分けてフラボノイド、カロテノイド、キノイド、クロロフィル、ベタレインの5種類のグループがあります。図2にそれぞれのグループの代表的な骨格を示しました。フラボノイドやカロテノイドはこれまでの草木染め、食品用天然色素の項でも例を挙げてきました。

フラボノイドは2つのベンゼン環が3つの炭素でつながった構造を基本骨格とする化合物のグループを指します。ほとんどの草木に含まれている成分です。フラボノイドは黄色、橙色、赤色、青色、紫色と幅広い色を発色します。タマネギのケルセチン、バナナのカルタミンなどはフラボノイドに属します。花の色や紅葉を彩るアントシアニンもフラボノイドの1種です。アントシアニンに糖が付いたものがアントシアニンです。赤キャベツやサトウダイコンの赤色、シソの赤~赤紫色はアントシアニンによるものです。

カロテノイドは炭素40個の直線的につながった構造を基本とする化合物の総称で、炭素5個のイソプレンが植物体内で8個つながって生成されます。イソプレンが2個から6個つながった化合物はそれぞれモノテルペン、セスキテルペン、ジテルペン、セスタテルペン、トリテルペンと呼ばれますが、テルペン類と同じイソプレンを起源にするカロテノイドですが、テルペン類とは性質が大きく異なります。カロテノイドはニンジンに含まれるβ-カロテンのように橙色やトマトに含まれるβ-カロテンを減少させると言われ、緑黄野菜に含まれるルテイン、クチナシの果実のクロセチン、ベニノキの色素アナトーに含まれるビキシンもカロテノイドです。

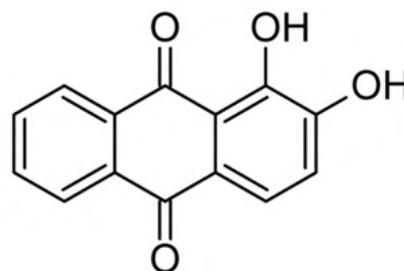
キノイドはキノン構造を持つ化合物です。キノンはベンゼン環の2つの炭素を図に示すようにカルボニル基に代えた構造のものです。草木染めや食品用添加物として赤色の発色に用いられるアカネのアリザリンはその例の一つです。植物ではあ

りませんがカイガラムシから得られるコチニール色素の成分カルミン酸も赤色の食品用色素として用いられるキノイドです。

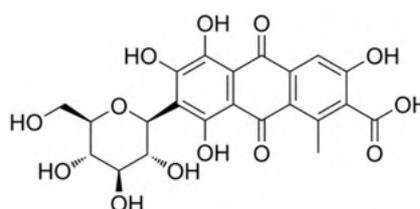
クロロフィルは葉緑素とも呼ばれる緑の色素で、緑葉植物に含まれています。植物が生育するのに必要な光合成を司っている化合物でクロロフィル a, b, c, d の4種が知られています。

ベタレインは窒素を含む化合物で、レッドビートに含まれるベタニンがその例です。赤色のビートから得られるベタニンはアイスクリーム、粉末飲料、肉などの着色に用いられています。

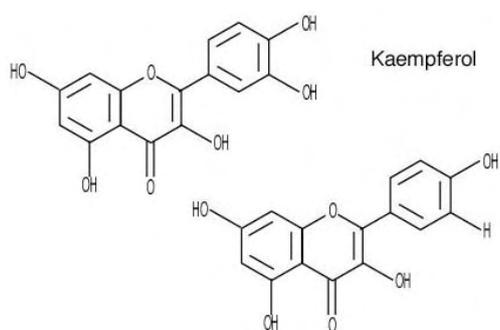
これまでの例で植物の色素の発色には共役二重結合の関与が大きいことがわかります。



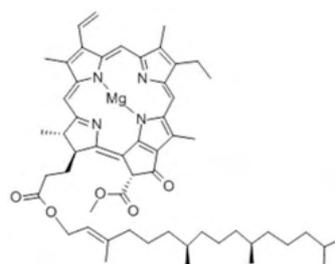
アリザリン



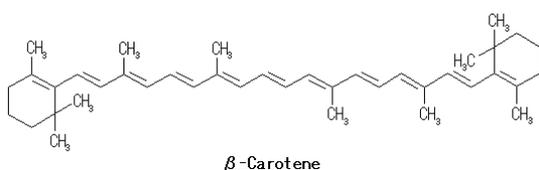
カルミン酸



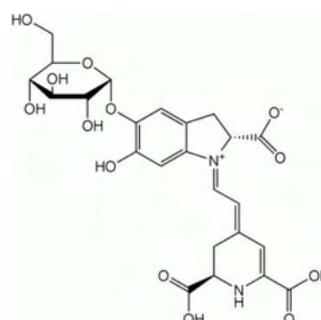
フラボノイドの一つケルセチン



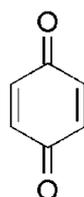
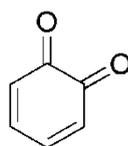
クロロフィルa



カロテンの一つβ-カロテン



ベタニン



o-Benzoquinone p-Benzoquinone

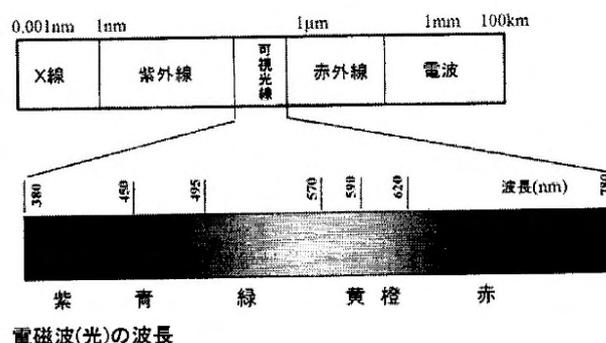


図1 電磁波の種類と波長

活動短信

今回の掲載はR3年6月12日から6月29日分です。寄稿頂いた中には、紙面都合や寄稿タイミングで次号以降の掲載になるものもあります。

8月(葉月)(旧暦7月文月)の

二十四節気と七十二候

立秋 8/7 頃

ヒグラシが夏の終わりを告げ、たまに涼しい風が吹く

処暑 8/21 頃

暑さが収まり、稲穂がふくらみ、たれるころ

活動短信への投稿概略フォーマットと略語の説明
ページレイアウトは気にせずベタ書きで結構です。
(できれば Word、メール直筆でも OK。Excel はできるだけ避けてください。改行等の処理に手間を要しますので)写真もあれば添付ください。

◆ 活動団体・活動名 等

日 日付(できれば時間と天気も)

場 場所 (例:相模原市緑区 長竹承継分収林)

参 参加者 人数

県 例 神奈川県 環境農政局 緑政部

水源環境保全課 水源の森林推進グループ

財(公財)かながわトラストみどり財団、 看護師

スタッフ 例 小田原市森林組合XX様

例 川崎市公園緑地協会・XX様

インストラクター① (○数字:期) 研修枠

以下、本文を概ね400字前後を目安として執筆ください
リーダーは責任を持って執筆者の選択と執筆後のチェックをお願いします。(執筆者名もお忘れなく!!)

活動終了後の速やかな投稿をお願いいたします。

◆ 鎌倉市「緑のレンジャー・シニア」
第2回講座 「道具の使い方」

日 令和3年6月12日(土)10:00~12:00

場 鎌倉中央公園

参 11名(男性7 女性4)

市 職員2名

スタッフ 鎌倉市公園協会 1名

イ L安倍⑤ 水上⑬

活動内容は、「緑の作業に必要な道具の使い方・手入れの方法を学ぶ」ことです。研修室に集合し、消毒・検温。個人貸与となる ヘルメット、剪定ハサミと腰ノコを装着。当講座を担当されてきた安倍さんにより①作業にふさわしい服装・持物②道具の名前、使用方法を手にとってわかりやすく説明された。実際に触れて切れ味の見方等を実践。

近くの「子どもの森」へ2班に分かれて移動。準備体操後、剪定バサミを使いササ等の下草刈りや”ひこばえ”切りを。次に2-3人に分かれて腰ノコで低木(ア

オキ等)を伐った。倒木は、玉切り作業を行い片付けを。また、高枝鋸を使い中木の枯れ枝をロープかけして伐った。高枝鋸は以外に重く、女性の方は大変のようでした。限られた時間でしたので、全員が体験できませんでした。現場のさぎょうを終え、道具の手入れ方法を学んで実施した。皆さん蒸し暑い中でしたが、怪我もなく無事終了しました。

(記 水上 正昭⑬)

かながわしずくちゃん Facebook は下記URLで見ることができます。

かながわの水源環境の
保全・再生をめざして

<https://www.facebook.com/kanagawa.sizuku>

◆ 横浜市立西本郷小学校 間伐体験

日 令和3年6月25日(金)10:30~12:40 曇り

場 相模原市緑区 長竹承継分収林

参 87名(先生11名 児童76名)

財 大木様、古舘様

イ L 西出⑫、小野⑦、松本⑪、星野⑬、松石⑬、
牧石⑭、竹内⑮、大友⑯、小林⑰

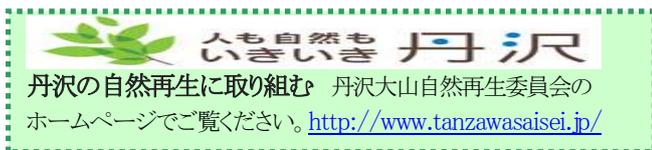
梅雨空ながら雨に降られることもなくみんなで力を合わせて間伐を行いました。樹高7m程のヒノキにロープをかけ、伐倒方向に受け口を入れ、反対側から追い口を入れて、みんなで力を合わせてロープを引きました。大きなヒノキが音をたてて倒れると、歓声が上がりました。ヤマビルの被害もほとんどなく、皆さん、間伐という貴重な体験に満足そうでした。



受け口の後、反対側から追い口を入れます

子供達は蕪尾根ふれあい広場にバスで到着して、各班10人程の8班に分かれて、用具置き場移動、インストラクターの指示の下、ヘルメット、フェイスシール

ド、枝打ち鋸を装備して山の中に入ります。現場では、間伐の意義、方法の説明を受けた後、いよいよ作業に入ります。倒す木を選んでロープを掛けて途中で滑車で向きを変えて、いよいよ大鋸で受け口、追い口の順に木に切込を入れます。そして、全員でロープを引いて木を倒しました。その後、倒れた木の枝を払って、幹を2m程に切って転ばない様に地面に並べて間伐作業を終了しました。切り口を見て年輪を数えて樹齢を調べたり、切り口の匂いを嗅いでヒノキの香りを楽しみました。(記 写真 西出 健一⑫)



◆ 横浜市立上井川小学校 丸太切り体験

日 令和3年6月29日(火)10:00~11:30 小雨
場 愛川ふれあいの村 体育館
参 39名 大人5名 子ども34名
財 古舘様、藤本様
イ L 星野⑬ 佐藤⑤ 西出⑫ 松石⑬

小雨の中、40分も到着が遅れましたが、先生のお導きと、児童の皆さんの素早い行動で、順調にプログラムが進みました。限られた時間を有効的に使いたいと、計画を練りなおしました。

入村式では、鋸を使う危ない作業であることとお伝えし、インストラクターの紹介を。

はじめに、晴れていれば、行っていた間伐作業について、使用道具を用いて、インストラクターが伐倒木、支点木の役も担っての説明。

その後、各班に分かれて、なぜ間伐が必要なのか、水源である森林の役割などお話を。



さあ、丸太切り体験です。「鋸は使ったことがある?」「押さえてくれる人が要るよ」「まっすぐ、おへそに向かって引いてね」「以外と難しい」「うまい、上手!」「最後は、鋸をきれいにするよ。こんな風に。」「掃除まで、今日の作業だよ。」



掃除が終わりました。「間伐材の利用はね・・・」「ヒノキはこんなところに使われているよ」「森を守るために、ボランティアでできることもあるよ」と絵を用いて解説を。1班は片付けが上手。2班はさっと動いて元気。3班は鋸を引く姿勢が〇でしたね。



最後に、終わりの会にて「木材利用は、皆さんのほうが良いアイデアがあるかもしれないですね。」「皆さんも水を飲みますね、皆さんの子孫も。森を大切にしましょうね。」とご挨拶を。

(記 写真 星野 澄佳⑬)

かながわ森林インストラクターの会は『緑の募金』の支援団体としても取組んでいます。
 全国で5番目/NPO法人で初めて委嘱されています。

会員の皆様からの寄稿のページ

「私の初心」

本号から会員の皆様から頂いた寄稿を掲載いたします。

竹筋と廃止の宮原線の想い出

九重町出身 7期 小野幸広

旧国鉄宮原（みやのはる）線は大分県九重町の久大本線恵良駅を起点に阿蘇くじゅう国立公園の一部くじゅう山系の秀峰涌蓋山（わいたざん・通称小国富士）の西麓山間を経て熊本県の肥後小国駅に至る26.6Kmの盲腸線で昭和12年部分開通しました。しかし昭和18年には鉄資源不足によりレールは撤去され長崎県内の新線に転用、肥後小国迄開通したのは昭和29年で沿線が過疎地で利用客も少なく、昭和59年12月に廃止されました。

工期35年を要して供用期間は30年と短い命でした。工事期間が長期に亘ったのはルートがすべて山間部で多くのトンネルや橋梁が必要な為でした。（この沿線北里駅付近は世界に誇る細菌学者故北里柴三郎博士の生誕地で記念館も有ります）

特筆されるのは当路線のコンクリート構造物に鉄筋の代用として竹筋が使用されている点です。昭和12年から14年頃は戦時統制下で鉄不足の為の窮余の策の様です。使われたのは4～5年生の孟宗竹で、秋に伐採され附着性向上の為半割か鋸状に切り欠きを入れ、部分的に鉄線結束した様です。ただ、大きな曲げ強度の掛かる梁や桁橋は避け、柱や底板、橋脚基部等に使用された程度で、戦後鉄筋供給が復活するとたちまち廃れました。

旧宮原線に現存するアーチ橋は7本でその優美な姿が素晴らしく、廃線跡探訪者も多く訪れ、文化庁により平成16年に「登録有形文化財」に指定されています。すべての橋梁に竹筋が使用されているかは不明ながら一部の構造物に対しては地元の古老等からの施

旧国鉄宮原線幸野川橋梁



写真 文化庁 登録有形文化財データベースより

工時の目視等の証言や、非破壊検査やコア抜き調査などで実証の例も有り、かなりの部分で使用された様です。使用骨材はすべて川砂で昨近の様な海砂と異なり長い年月を経ても、劣化せず小国町内の一部では上部を遊歩道に利用されております。

私事ながら私の高校通学時は久大本線利用（豊後中村～豊後森）で、朝6時台の乗車で冬季は駅までの山道は暗く寒く、蒸気機関車牽引の為トンネル通過時は煤煙の洗礼を受け、時間が遅くて気動車の宮原線利用者が羨ましかった・・・思い出です。

いま全国的に竹林が整備不足で、林間や耕地まで進出繁茂して困っているようですが、この原因は竹材の利用率の低下（農業への利用不足、竹製品輸入増、加工者の減少等）で、この様な事態を考えると竹材の有効利用が求められるものです。

18歳 VS 81歳

大先輩から投稿いただきました。ご本人は、現在85歳だそうです。

3期 高橋 恒通

お笑いの教訓

敬老文化照
資料
No. _____

18歳 VS 81歳

- 1) 人生に躓くのが18歳、貴の縁に躓くのが81歳。
 - 2) ハジが折れ易いのが18歳、骨が折れ易いのが81歳。
 - 3) 恋に溺れるのが18歳、風呂で溺れるのが81歳。
 - 4) 自分探しをするのが18歳、自分の家が判らなく探すのが81歳。
 - 5) 運転免許が取れるのが18歳、自信を無くして返納するのが81歳。
 - 6) 高速道路を暴走するのが18歳、逆走するのが81歳。
 - 7) ハースタイルを自由に変えられるのが18歳、変えられないのが81歳。
 - 8) 鉛玉を噛み砕けるのが18歳、鉛を噛んだら歯が砕けるのが81歳。
 - 9) 偏差値が気になるのが18歳、血糖値が気になるのが81歳。
 - 10) 知らない事が多いのが18歳、忘れる事が多いのが81歳。
 - 11) 東京オリンピックに出たいと思うのが18歳、おれまで生きたり思う81歳。
 - 12) 乾杯で宴が始まるのが18歳、黙祷で宴が始まるのが81歳。
- 子供笑うな来た道だ、写寄笑うな行く道だ。
- 編集：花鳥亭三太（高橋恒通）

やどりき水源林ミニガイド

「森の案内人」

森の案内人がお待ちしています。水源林にお出かけください。

「やどりき水源林ニュース」



7月号が発行されました。緑色に包まれた夏のやどりき水源林へです。

問合せ: (公財)かながわトラスみどり財団 TEL: 045-412-2255 FAX: 045-412-2300

ホームページ: http://www.ktm.or.jp E-mail: midori@ktm.or.jp

森林探訪

「秋の鎌倉広町緑地」

日時 2021年9月26日(日) 9:00~13:00 集合場所 湘南モノレール西鎌倉駅 里山や谷戸の解説を受けながら緑地を散策します。

【申込先】(往復ハガキまたはメール) 〒243-0018 厚木市中町2-13-14 サンシャインビル604号 NPO法人かながわ森林インストラクターの会 自然観察部会。 ※メール: kanagawa_shizenkansatu@yahoo.co.jp

詳細は、下記URLにて確認ください https://ktm.or.jp/event/21p-21/

森のなかまは過去号もご覧になれます。(ホームページ) http://www.forest-kanagawa.jp/3kiroku.html#kiroku01 (HP担当: 井出恒夫)

◇ 森のなかま原稿募集 ◇ 会員読者の皆様から広く募集しています。 <広報全般についてのお問い合わせ> 黒川 敏史 kurokawa.family@aa.cyberhome.ne.jp Tel: 080-5477-2206 <電子配信会員向け担当> 笠原 Mail: happy_kumakuma711@icloud.com <電子配信企業等・パートナー向け担当> 柳澤 Mail: kshinrin_pr@icloud.com <メール・手書き原稿送り先> 【本誌】黒川 敏史 Fax: 0467-46-8650 電話連絡先: 080-5477-2206 kurokawa.family@aa.cyberhome.ne.jp 【別冊】阿藤 寿孝 Tel: 045-433-4413 Mail: hisa-ato2@22.netyou.jp 原稿は随時受け付けています。

年間通読のお申し込み 「森のなかま」年間通読をご希望の方は、郵便局備付けの郵便振替を利用してお申し込み下さい。郵便振替口座 00230-0-2454 かながわ森林インストラクターの会 宛まで2000円をお振込み下さい。振替用紙には、必ず、住所、氏名を明記して下さい。振替用紙到着の翌月号から12回/1年間お届け致します。

編集後記 ★酷暑! 先日ハイキングに出かけたなら熱中症になりかけました。梅雨明けの晴天。今年は熱中症にも十分に注意が必要ですね。オリンピックもこの暑さの中競技をするのは大変でしょうね。大会運営のゴタゴタは、次々と出てくるし。コロナのバブルは、シャボン玉のように見えますし... ワクチンが早く広く皆に行き渡りますように。(吉田) ★孫たちの夏休みが始まりました。夏休み宿題に自由研究というのがありまして、今年は手作り楽器がテーマだそうです。結構厄介な宿題でじいじに支援(ほとんど丸投げ?)依頼が来てます。う〜ん! 竹でオカリナ作りをめざすぞ!! (阿藤) ★オリンピックが始まりましたね。開催することに賛否両論いろいろありましたが、やっぱりトップアスリートの頑張っている姿は素晴らしくて感動してます。このまま全ての協議が無事に終わるといいですね。(笠原)

★7/11のやどりき当番の時に東京からバイクできた人から情報をもらいました。足柄峠の手前(矢倉沢付近)から金太郎箱根ラインという道路が開通したとの事でした。早速7/20AM4時に家を出て綾瀬スマートICから東名に入りに行ってみました。富士山を見たいので一旦足柄峠にいき、聖典堂付近でトイレ/朝食をすませ矢倉沢からの入口に戻りました。一車線に近い道路ですが、所々に待避箇所がありますので、飛ばさなければ安全上も大丈夫です。途中で気がついたのですが、11年程前に金時登山時に金時神社から登り夕日の滝近くまで下ってきた林道の一部が車道になったようです。矢倉沢付近から入り、金時神社の近くに出できます。40分くらいですか? 途中で駐車場があり、そこから金時山に40分くらいで行けるみたいです。今、足柄峠の金時山登山口への車道(舗装なし)は奥までいけないみたいですね。(松本)

★7月24日、仙石原の県民参加の森林づくりを終わり、小田原に帰るバスは大渋滞に巻き込まれました。まるでコロナ禍前に戻ったようです。車窓から見る箱根湯本はファミリーやカップルで賑わっていました。しかしチョット違和感。なんと、この街の常連客である年配者を見かけないのです。ワクチンを二回打った人も多いはずなのに。聞く所によれば、「ワクチンがどこまで効くのか分からない」と警戒する高齢者が増加しているのだそうです。政治家、役人があれだけ無責任では、無理も無いのですかね。(竹内) ★自宅近くの鎌倉の公園で、昨年引き続き、今年発生の上ナラ枯れが目立つようになってきました。昨年対策ができなかったのが当然ですが、木が立ち枯れているのは、悲惨な感じです。(黒川)

編集人: 黒川 敏史 広報部: 吉田郁夫 松本保 笠原かずみ 加藤優美 阿藤寿孝 竹内明彦 柳澤千恵美 小林照夫 武田昭典 中澤良夫 支援: 大原正志 江頭淑子